

(2) 救急医療体制

| 番号 | 項 目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|-----------------------------------|--|------------|--|
| 2 | ○「かかりつけ医」の普及と適切な救急医療機関の受診の啓発 | ◇置賜地区救急医療対策協議会において啓発用チラシ28,000枚作成。市町を通して配布 ◇AED講習会 開催時にチラシ配布(年間11回) ◇小児救急医療講習会の開催(年間7回) 開催時にチラシ配布 | ●さらなる啓発 | □県は、各地区医師会や医療機関など関係機関との連携により、「かかりつけ医」の普及や適切な救急医療機関の受診についての啓発を推進します。 |
| 3 | ○精神科救急の機能、連携についての情報交換、情報提供。住民への啓発 | ◇置賜地域精神保健福祉連絡会議の開催 ①8月4日 置賜総合支庁 出席者 37名(事務局含む) 情報提供：米沢こころの病院の診療体制等について 情報・意見交換；精神科と身体科との連携、精神科救急診療体制について ②12月15日 米沢こころの病院 出席者 24名(事務局含む) 情報提供：米沢市立病院精神科に通院していた患者の状況等について 身体合併症をもつ精神科患者の医療連携等について協議 | ●関係機関の連携強化 | □県は、精神科医療機関と関係機関等による精神科救急の機能・連携についての情報交換や情報提供を促進します。また、関係機関と連携し住民への啓発を推進します。 |

(3) 医師・看護師不足の解消

| 番号 | 項 目 | H29 年度取り組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---------------------------------|--|--|--|
| 4 | ○ 医学生や看護学生にホームページを活用した情報提供の推進 | ◇中学生を対象とした「看護師の仕事を知る学習会」や「地域医療実習」の開催状況等、内容を修正し掲載 | ●コンテンツの充実 | □県は、医療職を目指す学生の進路選択を支援するため、管内で活躍する医師や看護師をホームページで紹介するなど、医療職のやりがいや魅力を発信します。 |
| 5 | ○ 研修指定病院と他の医療機関の連携による研修医確保対策の支援 | ◇臨床研修医・地域医療研修の受入れ 公立置賜総合病院研修医 2年次生 6名 ◇地域医療実習の受入れ 8月8日～9日 医学生 2名 (1年生1名、2年生1名) | ●効果の上がる事業の検討 | □県は、医師（医学生含む）や看護学生の研修及び実習受入れを積極的に行うとともに、管内看護師養成機関への講師派遣を行い、医療従事者の養成を推進します。 |
| 6 | ○ 中高生向け看護師体験セミナー等の開催 | ◇高校1年生を対象とした医師・看護師体験セミナー 7月17日 山形大学医学部 管内から医師コース18名、看護師コース11名参加 ◇高校1年生を対象とした看護師体験セミナー 8月10日 山形県立保健医療大学 管内から看護師希望者20名参加 ◇看護師の仕事を知る学習会 5月30日 米沢市立第一中学校3年生116名 講師 米沢市立病院 看護師 6月13日 米沢市立第二中学校2年生150名 講師 米沢市立病院 看護師 7月13日 米沢市立第六中学校2年生 33名 講師 米沢市立病院 看護師 7月26日 長井市立長井南中学校 1～3年生（希望者） 20名 講師 公立置賜総合病院 看護師 ◇管内病院等で開催する看護師体験セミナーで、「知ってほしい看護職のこと」パンフレット等提供 ◇県立米沢興譲館高校異分野融合サイエンス事業への協力（医療職を目指す生徒への講義等） 8月 7日 1年生 40名 9月19日 1年生 6名 | ●中・高校生世代へ、看護職の魅力を伝える機会の拡大 ●中学校等での学習会開催に向け早期調整 | □県は、管内から看護師を目指す学生を増やすため、看護職の魅力を伝えるパンフレットを作成するとともに、看護職への理解を深める中学生向け学習会を開催します。 |

(4) 周産期医療

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---|--|---|---|
| 7 | ○ 分娩を扱う医療機関と扱わない機関の機能の分担と連携の推進 | ◇置賜地域周産期医療情報ネットワークの運用 | ●県の周産期医療体制に基づいた機能分担、連携のさらなる推進、ネットワークシステムの検証 | □県は、妊産婦の不安解消と身体的負担軽減のため、分娩を扱わない医療機関から扱う医療機関への連携を強化します。 |
| 8 | ○ 周産期医療機関との連携による保健指導の充実や低出生体重児の出生を減らす取り組み | ◇母子保健実務者検討会の開催 10月23日 南陽市子育て世代包括支援センターの視察 ◇母子保健推進会議の開催 1月17日 効果的な妊産婦支援のあり方についての情報交換 ・精神疾患合併妊産婦への地域での連携状況 ・医療的ケア児の支援に係る医療・保健・福祉の連携状況 | ●周産期医療機関と市町等と連携した支援体制の充実 | □県は、市町の子育て世代包括支援センター設置を促進します。また、低出生体重児を減らす取組の促進に加え、NICU等に長期入院している医療的ケア児等の在宅復帰促進のため、保健・医療に福祉を含めた母子保健推進会議を開催し、連携を強化します。 |
| 9 | ○ 中高生への性教育の一環としての適齢期出産の啓発 | ◇ハイリスク妊娠予防（女性のセルフケア）啓発セミナー開催 10月26日 県立米沢女子短期大学 講話「女性の心とからだのセルフケア、ライフプラン」 91名 | ●中高生に直接アプローチできる養護教諭等に対する啓発 | □県は、若い世代向けの女性健康セミナー等を開催し、適齢期での出産について啓発します。 |

(5) 小児医療（小児救急含む）

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---|-----------------------------------|-----------|---|
| 10 | ○ 小児救急医療啓発講習会の開催や小児救急電話相談、「こどもの救急」ホームページの普及啓発 | ◇小児救急医療講習会の開催（年間 7回） 開催時にチラシ配布 | ●さらなる普及啓発 | □県は、保護者の不安解消と適切な医療機関の受診を促すため、市町や医療機関等と連携し、小児救急医療啓発講習会や小児救急電話相談等による普及啓発を推進します。 |

(6) 歯科医療

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|------------------|--|---------|--|
| 11 | ○ 訪問歯科診療や口腔ケアの啓発 | ◇在宅医療推進事業 三友堂リハビリテーションセンターで摂食嚥下サポートの啓発事業を実施 | ●さらなる啓発 | □県は、歯科医師会・歯科診療所や市町等と連携し、広報誌等の活用により、口腔機能低下予防のための口腔ケアの重要性や訪問歯科診療についての啓発を推進します。 |

(7) 医療連携の推進

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---|--|------------|---|
| 12 | ○ 置賜地域医療情報ネットワークシステム（OKI-net）の参加と利用範囲拡大の促進。医療情報連携の地域住民の啓発 | ◇各種会議等での参加の呼びかけ、啓発 ◇地域医療連携の普及啓発のためのパンフレット配布 | ●さらなる促進、啓発 | □県は、「OKI-net」への各診療所等の参加促進とともに、関係機関による医療情報連携についての住民啓発を推進し、医療情報ネットワークの全県的な統合を目指します。 |

第6次山形県保健医療計画
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

Ⅱ 地域の特徴的な疾病対策【評価目標】

| 項目 | 現状 | 目標(上段) | | | | |
|-----------------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------------|
| | | 実績(下段) | | | | |
| | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
| 特定健診受診率 (市町村国保) | 33.0% (平成22年度) | 36 | 41 | 47 | 53 | 60 |
| | | 38.4 (平成25年度) | 40.1 (平成26年度) | 41.6 (平成27年度) | 42.6 (平成28年度) | — |
| 認知症疾患医療センターの相談件数 (電話・面接) | 376人 (平成23年度) | 600 | 600 | 600 | 650 | 700 |
| | | 1299 (平成25年度) | 1306 (平成26年度) | 1639 (平成27年度) | 2002 (平成28年度) | 1415 (平成30年1月末現在) |

出典

[28年度 山形県国民健康保険団体連合会調べ]

[29年度 置賜保健所調べ]

Ⅱ 地域の特徴的な疾病対策【主要な取組み】

(1) がん・糖尿病対策

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|-------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 13 | ○ 特定健康診査や定期健康診断の受診促進 | ◇特定健診受診率(市町村国保) H27年度 41.6% H28年度 42.6% ・市町毎に特定健診・保健指導の実施状況や課題について聞き取りを実施 ・健康増進事業評価検討会、地域保健・職域保健連携推進会議において、市町・職域での実施状況や課題について情報交換を実施 12月18日、3月13日 | ●市町と職域の連携による受診率の向上 | □県は、地域保健・職域保健連携推進会議等において、市町、企業・産業保健関係機関と連携し、特定健診受診率向上に向けた情報交換や連携を強化します。 |
| 14 | ○ ホームページ等を活用した緩和ケアの普及啓発 | ◇地域在宅医療推進事業 ・三友堂病院地域緩和ケアサポートセンターにおける情報交換会、市民公開講座等の実施 ◇訪問看護師対象研修会での緩和ケアに関する知識、情報の提供 ◇在宅医療推進(緩和ケア)についてホームページへの掲載 | ●在宅での緩和ケアを支える多職種連携の推進と緩和ケアに関する住民への啓発 | □県は、住民に対する研修会等の開催により、がんの予防や緩和ケアについての正しい知識の普及啓発を促進します。 |

| | | | | |
|----|------------|--|---|--|
| 15 | ○ 糖尿病重症化予防 | ◇糖尿病重症化予防事業の情報提供、市町、職域における未受診者受診勧奨の取組みなどの事例検討、意見交換 ・地域保健職域保健連携推進会議並びに健康増進事業評価検討会 3月13日 ◇エフエムNCV等を活用した普及啓発 ◇糖尿病の栄養指導実施体制の構築 ・診療所で在宅栄養士による栄養指導を実施 従事在宅管理栄養士 4名 実施医療機関 米沢市・白鷹町の診療所6か所 ◇糖尿病治療や療養指導に関するホームページによる情報発信 | ●市町と職域の連携による取組みの推進 ●在宅管理栄養士の人材育成 ●県栄養士会との連携による、栄養指導の拠点となる地区組織の育成・支援 | □県は、地域保健・職域保健連携推進会議等において、市町、企業・産業保健関係機関と連携し、特定健診受診率向上に向けた情報交換や連携を強化します。また、糖尿病が疑われる方への早期治療や療養指導継続につながる体制の検討や、情報提供等を通じた重症化予防を推進します。 □県は、限られた専門医・専門スタッフや医療機関との連携を促進するとともに、管内の栄養支援拠点を中心とした栄養指導体制の充実強化を図ります。 |
|----|------------|--|---|--|

(2) 精神疾患対策

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|----------------------|--|---------------------|---|
| 16 | ○ 認知症患者への包括的支援体制の構築 | ◇関係機関からの相談、連絡への対応 | ●認知症患者を地域で支える仕組みづくり | □県は、精神科医療機関、警察、消防、市町等と連携し、地域精神保健福祉連絡会議を開催します。 □県は、市町の「医療と介護の連携推進のための拠点」とともに、在宅医療を推進できるよう支援します。 □県は、市町が設置した連携拠点到配置された職員等を対象とする情報交換会の開催等により、市町の在宅医療・介護連携推進事業を支援します。 |
| 17 | ○ 地域での認知症の方の見守り支援の強化 | ◇認知症疾患医療センターの相談件数 4月～12月 1,415件 ・認知症疾患医療センターを佐藤病院に委託し実施 ・認知症初期集中支援チームの事業開始 平成25年度：白鷹町 平成26年度：長井市 平成27年度：米沢市、南陽市、高島町 川西町、飯豊町 平成28年度：小国町 | ●認知症患者の増加 | 同上 |
| 18 | ○ 困難事例についてのケース検討会の実施 | ◇ケース検討会 53回(H30年1月末現在) うち保健所主催 7回 | ● 処遇困難な事例への対応 | □県は、必要に応じて、関係機関による措置入院者の退院前ケース検討会を開催します。 |

(3) 感染症対策

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|-----------------------|--|--|---|
| 19 | ○正しい知識の普及等のための研修会等の開催 | <p>◇集団保育における感染症対策研修会 保育所、幼稚園の保健活動、衛生管理を適切に行うことを目的に実施 8月24日(西置賜地域振興局) 31名 8月31日(置賜総合支庁) 57名</p> <p>◇嘔吐物処理啓発用DVDのPRと貸出し 貸出し件数(H30年1月末) 12件</p> <p>◇新型インフルエンザ等連絡調整対策会議 ・新型インフルエンザ等の感染症の理解促進及び発生時の迅速な対応確保を目的に開催。 ・麻疹流行時の対応と課題を題材に、管内の14病院と意見交換を実施 12月25日 41名</p> <p>◇結核対策研修会 ・国立病院機構山形病院の結核病床変更にともなう今後の結核の対応と感染性の評価に関する研修を行い、地域での連携について14病院と意見交換を実施。 12月25日 41名</p> <p>◇感染症対策加算会議への出席 院内感染対策防止のため、公立置賜総合病院が加算を取得している病院を招集して行う会議にオブザーバーとして出席 3回</p> | <p>●具体的な演習等を取り入れた、実践に役立つ研修を開催</p> <p>●関係機関、多職種連携により、感染症の発生及びまん延を防止</p> | <p>□県は、結核患者が適切な治療を受けられるよう、結核治療中核病院を確保し、感染症指定医療機関や基幹病院と医療提供体制を構築するとともに、医療従事者への研修会を開催するなど結核医療対策を推進します。(結核対策)</p> <p>□県は、拠点病院と連携して、医療従事者、患者、支援者等分野別の研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発を推進します。(肝炎対策)</p> <p>□県は、二次保健医療圏ごとに、保健所を中心とし、地区医師会、医療機関等と協議のうえ、新型インフルエンザ発生時の入院先の確保等、医療体制の整備を諮っていきます。(新型インフルエンザ等対策)</p> <p>※感染症対策については、次期計画では「地域の特徴的な疾病対策」の項目から外したため、全県版の「感染症対策の推進」施策の主なものについて記載</p> |

第6次山形県保健医療計画
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

Ⅲ 在宅医療の推進【評価目標】

| 項 目 | 現 状 | 目 標 (上段) | | | | |
|---------------------------|-------------------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------|
| | | 実 績 (下段) | | | | |
| | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
| 訪問診療を実施している病院・診療所数(歯科を含む) | 60施設 (平成24年度) ※()は歯科内数 | 64 | 68 | 72 | 76 | 80 |
| | | 115(61) | 115(61) | 113(61) | 115(63) | 114(62) |
| 訪問看護利用者数 | 957人 (平成23年度) | 980 | 1,020 | 1,050 | 1,090 | 1,130 |
| | | 961 (平成25年度) | 1,187 {平成26年度} | 1,148 {平成27年度} | 1,477 {平成28年度} | — |

出典

[29年度 山形県医療機関情報ネットワーク] (各年12月末時点)

[29年度 置賜保健所調べ]

Ⅲ 在宅医療の推進【主要な取組み】

(1) 在宅医療の充実

| 番号 | 項 目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---------------------|--|---|--|
| 20 | ○各医師会等の在宅医療の取り組みの支援 | ◇関係機関からの相談、連絡への対応 ◇地域医療介護総合確保基金による事業実施 ・地域在宅医療推進事業 米沢市医師会 南陽市東置賜郡医師会 三友堂病院地域緩和ケアサポートセンター 三友堂リハビリテーションセンター 医療と介護のなせばなるプロジェクト ・医療連携ネットワークシステム推進事業 置賜地域医療情報ネットワーク協議会 (事務局：公立置賜総合病院) ・地域在宅医療連携推進支援事業 南陽市東置賜郡医師会 ◇在宅医療・介護連携のための市町支援 市町ヒアリング、情報交換会の開催等による広域的な支援・調整 | ●市町毎に在宅医療を支える体制が異なる。 ●医療圏毎の実情に応じた連携体制、取組みの推進 | □県は、医療関係者に対するセミナー開催等により、訪問診療・訪問歯科診療・訪問看護・訪問薬剤管理指導など、在宅医療への理解を促進し、在宅医療に取り組む医療関係者の増加につなげます。 □県は、訪問診療・訪問歯科診療・訪問看護・訪問薬剤管理指導等に要する設備整備や連携強化に向けた多職種協働への支援等により、在宅医療に取り組む医療体制を確保します。 □県は、専門技術(小児・精神疾患等)向上のための「技術研修会」や事業所間の連携を強化するための「連携強化検討会」を開催し、訪問看護ステーションの担うべき機能の強化を推進します。 □県は、在宅療養者のQOL維持向上のため、多職種チームによる口腔ケア(咀嚼・嚥下機能等の回復、誤嚥性肺炎等の予防を含む)と食支援を行うことができる体制整備を促進します。 □県は、在宅医療に携わる医療・介護関係者が、患者の状態を適切に評価することにより、急変を未然に防止するための知識・技術習得を支援します。 |

| | | | | |
|----|----------------------------|--|---|---|
| 21 | ○ 看取りの理解と推進のための講演会等の実施について | ◇訪問看護師スキルアップ研修会 ◇地域包括ケアに関する啓発パンフレット等による啓発 | ●看取りへの理解を進めるとともに、在宅（施設）で取り組めるような体制構築の推進 | □県は、住民を対象としたセミナー開催により、在宅医療や看取りに対する理解を促進します。 □県及び医療関係団体は、医師をはじめとする医療機関・介護施設等関係者に対し、人生の最終段階における知識・スキル向上研修会の開催等により、看取り体制充実を促進します。 |
|----|----------------------------|--|---|---|

(2) 介護との連携

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|-------------------------------------|--|-------------|--|
| 22 | ○ 医師会等とケアマネジャーとの連携強化のための合同研修会開催等の支援 | <p><米沢市医師会> 多職種連携カンファレンス 2月2日 すこやかセンター</p> <p><長井西置賜郡医師会> 地域在宅医療推進研修会 10月12日 タスパークホテル</p> <p><南陽市東置賜郡医師会> 在宅医療研修会 8月23日 沖郷公民館 在宅医療講習会 10月24日 ND ソフトウェア(株)</p> <p><置賜保健所> ・置賜地域「入退院調整ルール」に係る病院職員・介護管理者会議 9月5日、2月16日 南陽市文化会館 ・置賜地区 地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議 10月12日 南陽市文化会館 3月16日（予定） 伝国の杜置賜文化ホール</p> | ●医療と介護の連携強化 | <p>□県は、「置賜地域入退院調整ルール」の定着を推進するため、関係者による点検協議を定期的実施します。</p> <p>□県は、市町の「医療と介護の連携推進のための拠点」とともに、在宅医療を推進できるよう支援します。</p> <p>□県は、市町が設置した連携拠点に配置された職員等を対象とする情報交換会の開催等により、市町の在宅医療・介護連携推進事業を支援します。</p> |

| | | | | |
|-----------|---------------------------------------|--|-------------------------------|---|
| <p>23</p> | <p>○ ケアマネジャーの医療に関する知識の向上を図る研修会の開催</p> | <p>◇「置賜地区 地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括ケアシステム構築に向けた医療・介護連携のポイント」 10月12日 南陽市文化会館 ・「医療・介護連携によるアドバンス・ケア・プランニング」 3月16日（予定） 伝国の杜置賜文化ホール | <p>●在宅療養支援に必要な医療に関する知識の向上</p> | <p>□県と市町は、介護支援専門員に対する研修会の開催等により、医療と介護のさらなる連携強化につなげます。</p> |
|-----------|---------------------------------------|--|-------------------------------|---|

第6次山形県保健医療計画
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

IV 保健・医療・福祉の総合的な取組み【評価目標】

| 項目 | 現状 | 目標(上段) | | | | |
|-------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|
| | | 実績(下段) | | | | |
| | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
| 専門家等による発育・発達相談の開催 | 4市町 (平成23年度) | 4 | 4 | 8 | 8 | 8 |
| | | 5 (平成25年度) | 7 (平成26年度) | 7 (平成27年度) | 7 (平成28年度) | 7 (平成29年度) |
| メタボリックシンドローム該当者割合 | 18.1% (平成22年度) | 17.5 | 16.7 | 15.9 | 15.1 | 14.2 |
| | | 15.4 (平成25年度) | 15.7 (平成26年度) | 15.5 (平成27年度) | 16.1 (平成28年度) | — |
| 心のサポーター養成研修受講者数 | 95人 (平成24年度) | 200 | 300 | 400 | 500 | 600 |
| | | 1169 (平成25年度) | 1493 (平成26年度) | 871 (平成27年度) | 309 (平成29年度) | 358 (平成30年1月末現在) |

出典

[29年度 置賜保健所調べ]

[28年度 国民健康保険特定健康診査]

[29年度 置賜保健所調べ]

IV 保健・医療・福祉の総合的な取組み 【主な取組み】

(1) 発達障がい児の早期発見、早期療育体制

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|-------------------------|--|---|--|
| 24 | 管内市町の相談実施の支援 | ◇母子保健推進会議(市町担当者会議)の開催 5月24日 市町における発達障がい児等に対する支援の取組み状況に関する情報交換 ◇7町が専門家等による発育・発達相談を実施 | ●市町が実施する専門家等による発育・発達相談の充実 | □県は、発達面の気になる子への身近な相談支援機能の充実を図るため、支援者向けの研修会を開催するとともに、発達心理の専門家による支援者向けのスーパーバイズを強化します。 □県は、発達面の気になる子への早期発見・早期支援のため、未就学児を対象とした置賜地域の支援ネットワークを構築し支援します。 |
| 25 | 身近な相談支援機能の充実のための研修会等の実施 | ◇子育て支援スーパーバイズの開催 支援困難ケースを抱える保育士等に対し、心理専門職が個別の助言指導を実施 米沢会場 5回、長井会場 2回 支援ケース数 19施設20ケース 保育士・幼稚園教諭 25名、保健師 延20名 | ●困難事例への対応力強化のための支援者への指導機会の充実 ●保育施設における個別支援計画の取組み推進 | 同上 |

| | | | | |
|----|----------------------------------|--|--|----|
| | | <p>◇発達障がい支援シリーズ基礎講座の開催 5月25日 38名 ・テーマ「特別支援教育コーディネーターの役割について」 11月20日 93名 ・テーマ「気になる子への関わり方について」</p> <p>◇置賜地域療育支援体制整備事業の実施 ・児童発達支援事業所実態調査の実施 6か所 ・児童発達支援事業所等連絡会の開催 11月20日 テーマ「気になる子に関わる関係機関との連携について」 ・「(仮)置賜地域気になる子支援ネットワーク」あり方検討会の開催 3月15日予定 講話「発達障がい児の早期支援に向けて～医療機関でできること、地域でできること(仮)～」</p> | <p>●早期支援に向けて置賜地域が一体となった支援体制の構築(未就学期)</p> | |
| 26 | <p>○スムーズな就学へつなげるための相談支援体制の強化</p> | <p>◇教育事務所と共催で、発達障がい支援推進体制会議を開催し、関係機関間での連携強化 保健・医療福祉・教育機関の30機関参加 第1回 5月17日 第2回 2月7日</p> | <p>●就学時に情報共有や必要な支援が引き継がれるための連携強化</p> | 同上 |

(2) 精神障がい者の地域移行の促進

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---|--|-----------------------------|---|
| 27 | <p>○多職種による訪問支援、地域資源の調整等による、精神障がい者の地域移行の促進</p> | <p>◇精神保健関係者研修会 11月1日 南陽市中央公民館 31名 ・発達障害とひきこもりの理解</p> <p>◇精神保健福祉普及運動週間キャンペーン(10月16日～10月22日)の実施</p> <p>◇患者家族への家庭訪問や面接・電話での相談</p> <p>◇関係機関からの相談、連絡への支援、対応</p> | <p>●地域における精神障がい者への支援の推進</p> | <p>□県は、精神科医療機関、警察、消防、市町等と連携し、地域精神保健福祉連絡会議を開催します。</p> <p>□県は、心の健康に関する地域住民への普及啓発を推進するとともに、市町等関係機関と連携した置賜地域自殺対策推進会議を開催します。</p> |
| 28 | <p>○ひきこもり者等の支援のためのネットワーク会議の開催</p> | <p>◇ひきこもり等の支援置賜ネットワーク会議 11月1日開催 出席者24名(事務局含む) 南陽市中央公民館 ・事例検討等</p> | <p>●人材育成等、支援機関の体制強化</p> | <p>□県は、ひきこもり者等支援のための関係機関によるネットワーク会議を開催します。</p> |

(3) 難病対策

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---------------------------------|---|-----------------------|--|
| 29 | ○ 在宅療養の支援と療養体制の整備及び活用できるサービスの調整 | ◇申請窓口での相談及び在宅療養中の神経難病患者への訪問指導の実施 ◇ケースカンファレンスの参加、企画(1月末現在) 難病3事例 3回 長期療養児3事例 3回 ◇難病対策地域協議会の開催 (11月22日) ・難病患者へのアンケート調査結果に基づき、課題の協議 ◇在宅人工呼吸器装着者の災害時対応に係る検討会の開催 2事例 2回 | ●関係機関との連携強化による支援体制の充実 | □県は、在宅療育支援計画策定・評価事業による在宅療養の支援と療養体制のサービス調整等を行います。 □置賜地域難病対策地域協議会を開催し、支援者のネットワークづくりを行います。 |
| 30 | ○ 難病患者医療福祉相談会の開催 | ◇難病患者医療福祉相談会 9月22日開催 講演：摂食嚥下障害の基礎～安心して食べ続ける為に～ 患者・家族との座談会 参加 患者・家族 11名 関係者 11名 (対象疾患：筋委縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多系統委縮症) ◇長期療養児講演会 8月9日開催 テーマ：子どものぜんそくの理解と日常生活のポイント 講演、相談会 参加：家族・保健師・保育士・養護教諭等25名 | ●難病医療法の新たな施策に則った事業の展開 | □県は、難病患者医療福祉相談会を開催し、患者及び家族の不安の軽減と交流を図るとともに、介護事業所職員等への研修を行います。 |

(4) 健康づくりの推進 (生活習慣病などの予防対策)

| 番号 | 項目 | H29 年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|----------------------|---|-----------------------------|---|
| 31 | ○ 運動、食事、喫煙等に関する情報の提供 | ◇出前健康教室の実施 ・各年代に応じた食生活 ・喫煙と健康 ・生活習慣病予防について ・健康長寿のための食生活 実施回数13回 参加者延べ420人 ◇エフエムNCVラジオ放送及び置賜総合支庁ニュースを活用した普及啓発 ・「食生活と健康」、「世界禁煙デー・禁煙週間」について等 6回 | ●望ましい生活習慣の定着を目指し、更なる普及啓発を推進 | □県は、地域保健・職域保健連携推進会議等において、市町、企業・産業保健関係機関と連携し、特定健診受診率向上に向けた情報交換や連携を強化します。また、糖尿病が疑われる方への早期治療や療養指導継続につながる体制の検討や、情報提供等を通じた重症化予防を推進します。 |

| | | | | |
|----|------------------|---|--|---|
| | | <p>◇食生活改善推進員地区リーダー研修会での減塩をテーマにした調理実習 6月16日（置賜総合文化センター）24名 6月21日（西置賜地域振興局）22名</p> <p>◇山形県ホームページ「健康情報ステーション」への健康情報の掲載 3回</p> | | |
| 32 | ○受動喫煙防止の環境づくりの推進 | <p>◇受動喫煙防止対策説明会の実施 ・食品衛生責任者講習会での普及啓発活動11回</p> <p>◇受動喫煙防止対策推進キャンペーン ・巡回啓発 14件</p> <p>◇未成年者の喫煙防止対策（健康教室） ・小学生対象 2回 48人</p> <p>◇若者等を対象とした普及啓発（企業や各種団体等での出前健康教室）4回 167人</p> <p>◇公共施設における受動喫煙防止対策実施状況の把握、好事例紹介</p> | <p>●公共性の高い施設、飲食店等の受動喫煙対策について更なる促進</p> <p>●事業所等の受動喫煙対策の支援</p> | □県は、出前講座等により禁煙や受動喫煙防止の関連情報を提供し、その普及啓発を推進します。 |
| 33 | ○関係機関と連携した食育の推進 | <p>◇各市町食生活改善推進協議会が行うライフステージ等に対応した事業の連絡調整、情報交換 ・「生涯骨太クッキング」、「おやこの食育教室」、「男性のための料理教室」、「やさしい在宅介護食教室」「減塩推進スキルアップ事業」（高校生～成人対象）、「1日1g減塩チャレンジ」（家庭訪問による減塩の啓発）</p> <p>◇給食施設実地指導・支援による食育の普及啓発</p> | ●望ましい食生活の定着を目指し継続して推進 | □県及び市町は、関係機関と連携し、食事・運動・適正体重の維持管理など、住民の健康への関心を高めるための情報提供やライフステージに対応した食育を推進します。 |
| 34 | ○外食料理の栄養成分表示の推進 | ◇外食料理栄養成分表示の推進 山形県栄養士会米沢・長井地域事業部への情報提供 | ●外食料理の栄養成分表示・ヘルシーメニューの提供が定着拡大するよう継続して情報提供 | □県は、関係機関と連携し、食関連産業・飲食店等における健康に配慮した食環境整備を推進します。 |

(4) 健康づくりの推進 (歯科保健対策)

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|---|---|--|--|
| 35 | ○ 歯科保健の実施状況の把握及びライフステージに応じた訪問歯科診療や口腔ケアの地域住民への啓発推進 | ◇市町の取り組み状況 「市町村歯科保健事業実施状況調査」 H28 健康長寿推進課調べ ・妊婦歯科健診 :3町(川西町、小国町、白鷹町) ・妊婦歯科教室 :2町(小国町、白鷹町) ・乳幼児歯科健診 :全市町 ・乳幼児歯科教室 :5市町(南陽市、高島町、川西町、小国町、白鷹町) ・乳幼児フッ素塗布 :全市町で実施 ・保育園でのフッ素洗口 :2市町(南陽市、小国町) ・歯周疾患検診 :全市町で実施 ・成人歯科健診 :2市町(長井市、川西町) ・成人歯科教育 :3市町(米沢市、南陽市、白鷹町) ・成人歯科相談 :2市町(米沢市、白鷹町) ・訪問歯科指導 :3市町(川西町、長井市、飯豊町) ・介護予防事業における口腔ケア教室 :7市町(米沢市、南陽市、長井市、高島町、川西町、白鷹町、飯豊町) | ●青壮年期からの歯周疾患進行予防と高齢期の口腔ケアの推進 ●在宅歯科医療の推進 | □県は、歯科医師会、歯科診療所及び市町等と連携し、広報誌等の媒体活用により、青壮年及び未就学児の保護者に対し、口腔ケアの重要性に関する普及啓発を推進します。 |

(4) 健康づくりの推進 (高齢者の健康づくり対策)

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|--|--|--|--|
| 36 | ○調理になじみのない人でも気軽に取組める低栄養予防献立集等の活用による、健康づくりの啓発 | ◇職員出前講座の開催 ・低栄養予防啓発、一人暮らし健康長寿者の食と生活習慣に関する調査結果、電子レンジレシピ集などの紹介 5回 102人 ◇高齢期の食に関するアンケート調査の実施 ・対象 介護予防事業参加者 65歳以上 120人 時期 7月～8月 ◇低栄養予防研修会の開催 ・アンケート調査結果の情報提供と、低栄養予防のための研修会 3月 6日(予定) 50人 ◇高齢期の食の課題検討会の開催 ・在宅栄養士、栄養支援に関わる栄養士等対象 9月27日 33人 3月 6日(予定) 30人 | ●「電子レンジ献立集」及び「野菜まるごとレシピ集」の更なる普及 ●高齢者の食と生活習慣に関する実態調査結果の普及 ●他職種との情報共有や低栄養予防の普及啓発 | □県は、市町、米沢栄養大学及び栄養ケア関係機関等と連携し、低栄養予防情報の提供による普及啓発とともに、栄養支援拠点を支援するなど、食環境づくりを推進します。 |

(4) 健康づくりの推進 (こころの健康づくり対策)

| 番号 | 項目 | H29年度取組み及び達成状況 | 課題と展望 | 次期計画における推進施策 |
|----|----------------------------|---|---|--|
| 37 | ○ 自殺予防のための心のサポーター養成研修会等の開催 | ◇心のサポーター養成研修受講者数 [管内市町・置賜保健所実施分] 4月から1月 14回 358名 (参考 平成28年度 7回 309名) ◇「置賜地域自殺対策推進会議」 3月5日 置賜総合支庁本庁舎 ◇うつ病家族教室の開催 2回 7月21日 参加者10名 8月25日 参加者10名 ◇うつ病予防普及啓発のための紙芝居の実施 1回 約11名 ◇自殺予防週間キャンペーンでの啓発活動 9月10日～16日の実施 ◇自殺対策強化月間での啓発 3月中の実施 ◇メンタルヘルス出前講座 4月から1月 8回 354名 ◇自殺未遂者相談支援事業 山形県内で平成26年12月から実施 平成28年度1件 ◇心の健康づくり講演会 3月5日開催 置賜総合支庁本庁舎 ◇避難者支援センター“おいで”における情報交換 8月9日 8月25日 2月6日 | ●自殺者数は年々減少傾向にあるものの、週に1人が自殺で亡くなっている ●自殺未遂者への対応 ●複数の問題を抱えている人への対応 | □県は、心の健康に関する地域住民への普及啓発を推進するとともに、市町等関係機関と連携した置賜地域自殺対策推進会議を開催します。 □県は、ひきこもり者等支援のための関係機関によるネットワーク会議を開催します。 |